

5月に入って、ようやく咲き始めた花芽のまばらな桜を遠目から三分咲きかと思っておりましたら、ウソによる食害だったようです。そのため、今年の最上公園は何とも残念な花見・カド焼きになってしまいました。新年度が始まって一ヶ月余が過ぎました。それぞれが新たな環境での生活にも馴染んできたものと思います。

<4月の電話相談・来室相談から>

～ **新たな環境で、いきいきと生活するために、気軽に相談を** ～

4月に受けた電話相談・来室相談について、ひとつ紹介いたします。

高校を中退したA君の働き口について、母親が相談に来室されました。

高校生の多くは、将来の「経済的な自立」を意識した学校生活を送っているものと思います。そして、この世代の若者には、社会に出たときに一人でも生きていける気持ちの強さや逞しさ、人と関わるための礼儀やマナーが身についていること等の「精神的な自立」も求められます。

事例のA君については、母親の来室相談後、履歴書用紙を持参し相談員に聞きながら「履歴書」を書いていました。高校卒業資格を持つ者と比べて、中途退学の場合はどうしても就職は厳しくなります。ただ、本人の「働きたい」という強い思いは、履歴書への記載を間違えても、投げやりになることなく6度も書き直しをするという様子に現れていました。その後、菖蒲相談員と一緒にハローワークに出向き、面接試験について準備を進めています。地域の若者をサポートする組織や子育てにかかわる悩み事を相談する窓口が社会にはたくさんあります。本人であれ、保護者であれ、身近な人に相談をすることで心配事や悩みが解決することは多いと思います。その中の選択肢に、市教委の教育相談室を入れていただきたいと思います。

別の例ですが、**高校を卒業し就職したB君の父親が、先日来室され、就職先で何事もなく元気に仕事をしているという嬉しい報告をしていかれました。**



今年12年目の「気楽に話し合う会」

1994年からスタートした「気楽に話し合う会」は、今年で12年目となります。この会は新庄市内の小中学校に所属する不登校児童生徒の保護者が集い、ゆっくりと思いの丈を語り合う会です。

偶数月の第3金曜日19時～21時、わくわく新庄にて開催しておりますが、4月19日（金）19時から今年度1回目が行なわれました。5名の保護者の方々が参加して下さいました。その日は、初めて参加された方もおられ、終始その方の話をみんなで伺いました。

自分のお子さんが登校を渋り始め、欠席が続き始めた時、保護者の方は、「まさか、ウチの子が…」と、かなりのショックを受けます。本人も家族も、周囲の視線を過剰に気にしてしまい、身動きできないほどプレッシャーに押しつぶされそうになります。そんな時、同じ悩みを抱える保護者同士、また、一番大変な時を切り抜けてきた先輩保護者との語り合いは、本当に大きな救いとなるようです。

今年度も、「気楽に話し合う会」に集う保護者の皆さんからお話を伺わせて頂き、私たち相談員もたくさん学ばせて頂きたいと思っております。



<適応指導教室（シャイニングの活動）>

～ 学習や体験活動に懸命です ～

連休明け、通級がどうかと気がかりでしたが、その心配は全くいりませんでした。そればかりか通級が待ち遠しかったみたいで、冗舌振りにびっくりしてしまいました。そして現在も遅刻や欠席もなく毎時間教科の学習にとてもがんばっており、不思議なくらいです。

毎週の体育の時間も最近では汗をかくぐらい体を動かしています。地味なラジオ体操で身をほぐした後、バレーボールでカウントし出すと一気に白熱。わずか数回でコンビネーションプレーも見られるようになりました。同学年ということも、またお互いの距離感や関係がうまく保たれていることも功を奏しているのでしょう。

先月の体験活動は絵手紙づくりでした。構図や筆のタッチ、スイートピーの色合いなど自分でも満足する出来だったので。最後は簡単につくれる落款を完成。それをビシッと押すと引き締まった絵手紙が完成。とても初めてとは思えない素敵な作品に早変わり。そしてお目当ての友達に宛てて投函しました。

今月の体験活動は市民文化会館から最上公園の散策でした。さわやかな日差しの中、理科便覧を片手に植物観察。公園の桜はちらほらでしたが、土の香りと草花の可憐な姿を五感に留めながらの一周でした。感じ取った春のいぶきを俳句にして短冊にしたため活動のまとめとしました。作品の出来栄に満足はしてい

なかったようですが、散策を通して得たエネルギーで充電したかのような表情でした。

これからも適宜体験活動をプラスしながら、心の開放と人間関係づくりに努力していきます。



適応指導教室（シャイニングスクール）での体育の学習

5月の活動

在籍 シャイニングクラス 2名
リスタートクラス 5名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○月曜日 理 科、数 学	○月曜日 自主活動
○水曜日 社 会、英 語	○木曜日 体験活動
○金曜日 国 語、体 育	
○木曜日 体験活動（月2回）	
◆ 体験学習Ⅱ 5月9日（木） 春の植物観察と俳句づくり	
◆ 体験学習Ⅲ 5月23日（木） 市民農園にて農作業 畝づくり、苗の植え付け （さつまいも、里いも、枝豆、落花生）	

<リスタートクラス>

徐々に巣立つ …

リスタートクラスは、年度初めに、入級申込書を提出してもらうことになっておりますが、なかなか年度できっちりと卒業というケジメをつけられないところがあります。今年度も卒業とっていいのかわ、継続とっていいのかわという若者が数人います。

K君は、今年4月から仕事を始めましたが、日、月曜日と休みなので、「ぜひ月曜日のリスタートクラスに参加したい」との希望があり、「継続」という形となりました。しかし、一ヶ月もすると、段々、新しい生活がすっかり定着し、リスタートクラスへの愛着も薄れてきたように見えます。

「月曜日は部屋の掃除をしたいから」との理由で欠席するようになりました。

こうやって、徐々に巣立っていくのかな～、と実感しているところです。



あ と が き

先日、木村知則先生（臨床心理士）の「ペアレント・トレーニング」講演会に参加する機会を得ました。会場は40名の定員をオーバーする参加者数で、若いお母さん方の子育てへの関心の高さを示すと同時に、子育てへの苦手意識や不安・悩みを持つ保護者の多いことの裏づけとも感じました。

研修を通し、子どもの行動の特徴を理解し、好ましくない行動を変えていくための接し方を学びました。子どもと親のよい循環をつくるためにも私たち大人が機会を捉えて研修を積み重ねていく必要があるように思いました。

教育相談室担当者

- ダイヤルなんでも相談 鈴木
- TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）林・小野
- 青少年の自立支援（リスタート）菖蒲
- TEL 22-2111
- （ 内線 445、448 ）